

# たかまる通信

第22号

2014.11.1  
討議資料

発行/ 福岡たかまる後援会 TEL0952-20-0111

## 衆議院選挙の必勝態勢構築に向けて

一票の格差の是正のため、次の総選挙から佐賀県の衆議院小選挙区が3から2に減少することが決まっています。これを受けて、自民党佐賀県連でも対応を協議してきました。

まず、県連として現有議席の維持を党本部に求め、平成26年6月16日に党本部より「比例代表ブロック名簿の上位搭載枠を確保するように措置する」との決定がなされました。これにより、佐賀県は引き続き三人体制で選挙に臨むことが可能となったわけです。

併せて、党本部からは純粋比例に回るのは、現職でなければならないとの条件が付けられました。佐賀県枠によって、惜敗率で比例復活する枠が一つ減少することに対して、新人候補では九州各県の理解が得られないとの理由です。

三区の保利耕輔代議士が次期選挙への不出馬を表明されていますから、二区の今村雅弘代議士か、一区の岩田和親代議士のどちらかが純粋比例に回っていただかなければならず、党本部や県選出国會議員、関係各位と調整を行ってきました。

平成26年10月11日に行われた自民党佐賀県連の総務会において、今村雅弘代議士より、九州ブロックの理解を得

るためにも経験豊かな自らが比例に回るというご決断を発表していただきました。県全体のバランスを考えての大きなご決断を重く受け止めたいと思います。その思いに応えるためにも、次の総選挙において新一区、新二区ともの勝利を勝ち取らなければなりません。

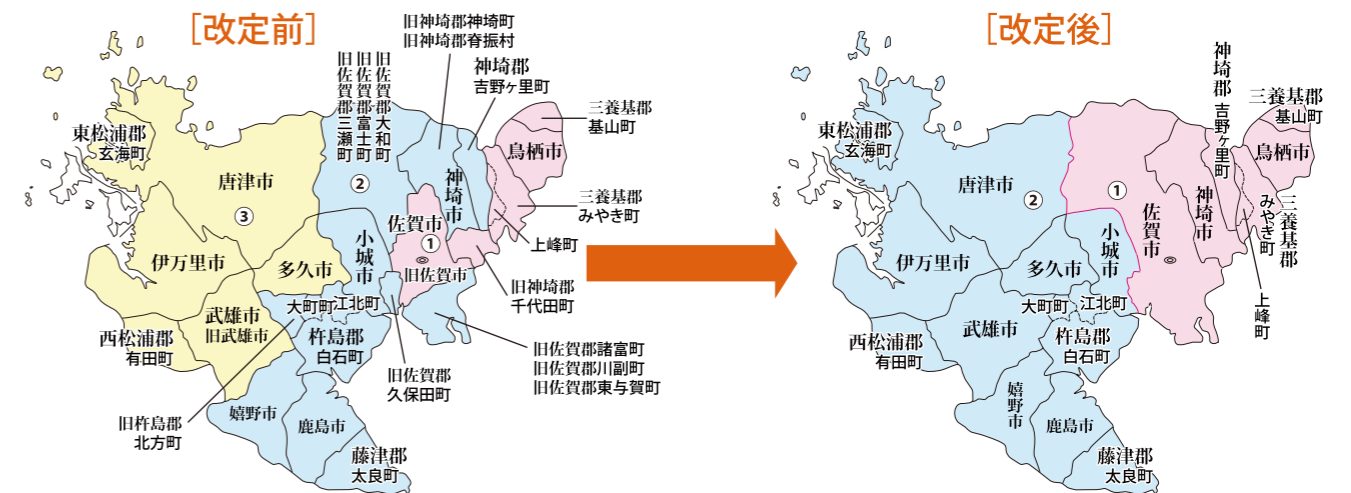
新一区については、これまで現一区で活動を積み重ねてこられた岩田和親代議士を支部長にすることを県連として求める決定をしました。県連の議論を受けて、最終的には党本部で選任されることとなります。

純粋比例、新一区に目途が立ち、今後は新二区の候補者をどのように選んでいくかが焦点となります。他党にかなり先行されている現状を鑑みますと、早急に選考を進めなければなりません。一方で、追いつき、追い越すためには挙党一致体制を組むことが何よりも必要ですから、様々な声に耳を傾けながら進めていきたいと考えています。

衆議院の任期満了は再来年末ですが、来年春には統一地方選挙が行われます。

佐賀県においても、県知事選挙、県議會議員選挙をはじめ各種選挙が控えていますから、まずは当面の選挙の勝利に向けた体制づくりが必要です。

皆様方のご指導を心よりお願い申し上げます。



### たかまるサポーターを募集しています！

政治とカネの問題が取りざたされる中、私の事務所でも経費節減に努めています。それでも、政治活動にはお金がかかります。そんな私の政治活動をサポートしていただけの方を募集しています。年間で1口2千円から(千円単位)お願いさせていただいています。皆様の暖かいお気持ちで、福岡たかまるを育ててください。お力添えをよろしくお願いいたします。

口座記名番号：01700-2-76522  
口座名義：たかまろう 21  
郵便振込 ※専用の振込用紙も用意しています。事務所にこ一報頂ければお届けします。

### 参議院議員 福岡たかまる事務所



【佐賀事務所】  
〒840-0826 佐賀市白山一丁目4-18  
TEL 0952-20-0111  
FAX 0952-20-0666

【国会事務所】  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館919号室  
TEL 03-6550-0919  
FAX 03-6551-0919



平成26年9月3日に第2次安倍内閣の内閣改造が行われ、それに伴い1年あまりの内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官の任を終えました。4人の大臣にお任せし、所管する業務も、行政改革、規制改革、少子化対策、男女共同参画、金融機関の検査・監督、震災復興、食品安全、消費者行政等々、広範にわたり、大変めまぐるしい日々でしたが、これまであまり馴染みのない分野の政策も勉強させていただき、貴重な体験となりました。

平成26年9月末からは、新しい立場で国会に臨んでいます。ここに主なものを紹介します。

## 【厚生労働委員会筆頭理事】

このたび参議院の厚生労働委員会に所属することになり、さらに与党筆頭理事を拝命しました。各委員会における筆頭理事とは、与野党間折衝(筆頭間協議)の先頭に立ち、法案審議の進め方を組み立てます。具体的には、どのようなスケジュール

ルで、どのような審議内容にするかを、国会対策委員会、議院運営委員会と連携をとりな